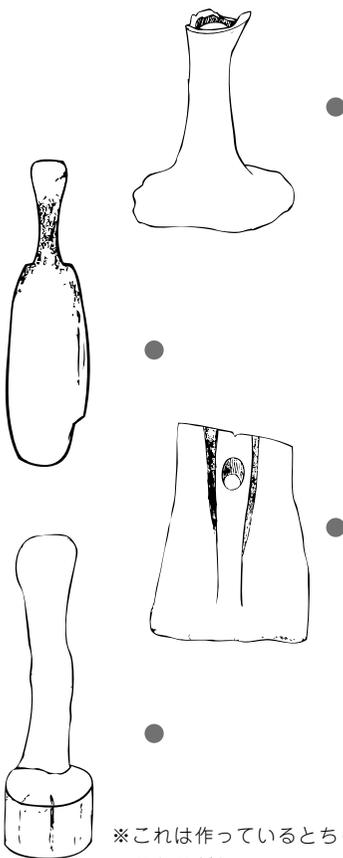


もつき  
木器

弥生時代には、今よりももっと多くの木の道具が使われていました。  
木で作られた道具のことを「木器」とよんでいます。

☆ 展示してある木器の中から、下の左の図のものをさがしてみよう。また、右の道具を使っているようすから同じものを選んで、線で結んでみよう。



※これは作っているとちゅうのものだね。



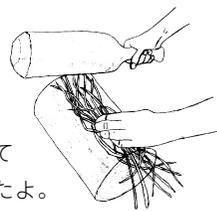
水などをくむのに使っていたよ。



畑を耕したりするのに使っていたよ。

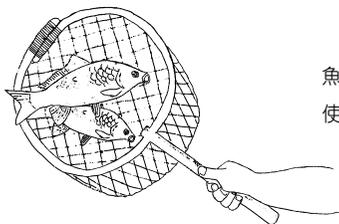


食べ物をのせていたよ。

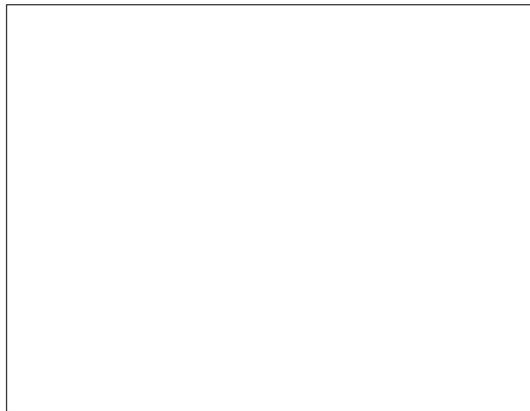


わらなどをたたいてやわらかくしていたよ。

☆ 下の図のように使っていた木器はどれかな。展示してある木器の中からさがして□に絵を描いてみよう。



魚とりなどに使っていたよ。

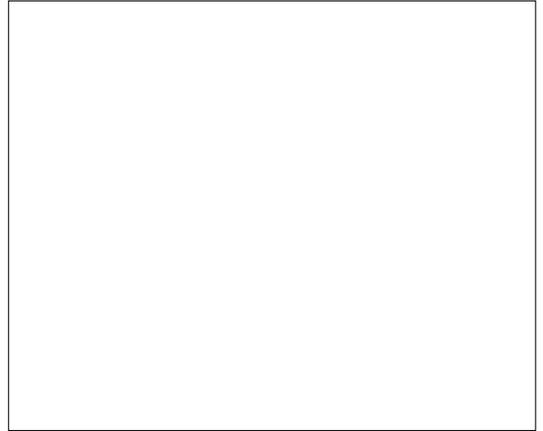
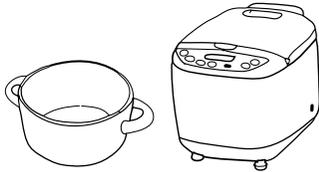


# どき 土器

ねんどを焼いて作ったようきを「どき」とよんでいます。弥生時代のどきは、お皿みたいに食べ物を盛りつける以外に、調理や貯蔵などに使われていました。

☆ かべにならんだのどきの中から、次の説明にあうものをみつけて □ の中に絵を描いてみよう。

1. 食べ物を煮たり、米を炊いたりするのに使ったどき。今の鍋や炊飯ジャーと同じように、中のものが取り出しやすい形をしているよ。



2. 食べ物や飲み物を貯えるのに使ったどき。今のペットボトルやビンと同じで、中の物がこぼれないように一部がせまくなっているよ。



3. 食べ物を盛りつけたどき。今の皿と同じ使い方だけれど、形が違って、脚がついて高くなっているよ。

